

ゼレンスキー：ウクライナは米と EU が代価を払わない限り選挙はしない

<https://www.infowars.com/posts/zelensky-says-ukraine-wont-hold-elections-unless-us-eu-taxpayers-pay-for-them/>

Jamie White

August 28, 2023

【訳者より】

訳者はこの比較的短い記事の翻訳を試みるが、稚拙による不適切以外は、間違いはないつもりなので念のため。ゼレンスキー大統領について、わが国では、その評価への多少の修正はあっても、悪玉ロシアに対する善玉ウクライナという基本は変わっていないだろう。そこでこれを政府・メディア連合の方々に提供し判断を仰ぐ。

それ前に、我々の 7/28「ミステリーとしてのウクライナ反転攻勢の失敗」という記事の、特にこの部分を読んでいただきたい：—

<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/230725.pdf>

「ゼレンスキーの言っていることに我々はあっと驚く。ここには指揮者の責任を全く取ろうとしない驚くべき戦争指揮者がいる。そして他方に同じくらい無責任な、西側の兵器や訓練の供与者がいる。この両者が互いに全く無責任に、〈あなたまかせ〉の関係を結んでいる。・・・これでは戦争に勝てるはずがない。これはゼレンスキーという男には初めから戦争に勝つ意思がなく、ひたすら破壊することにしか興味がないことを示すだろう・・・」

これを頭に置いて、次の翻訳記事を読んでいただきたい。「ウクライナは地上で最も墮落した国家である」というその結論が、なお一層納得できるだろう：

ウクライナ大統領ウォロジミール・ゼレンスキーは、アメリカと EU の納税者は、もし来年、ウクライナで選挙が行われるのを見たければ、もっとカネをよこせ (fork over more money) と要求した。

日曜日、彼の事務所で行われたインタビューで、ゼレンスキーは、もしアメリカと EU が選挙費用の払ってくれるなら、継続中の戒厳令にもかかわらず、彼の国で選挙を行いたい

と考えていると言った。 <https://www.president.gov.ua/en/news/ssha-ta-yes-mayut-rozdiliti-riziki-mozhlivogo-provedennya-vi-85225>

ゼレンスキーは、ネオコンのリンゼー・グレアム（共、サウスカロライナ）と話したと言っている。グレアムはウクライナへの送金を主張する急先鋒である。

「私は（グレアム上院議員に）話した。もしアメリカとヨーロッパが我々に財政援助をしてくれなければ、…悪いが、私はツケ払いで選挙をしたくないし、また兵器からカネを取って選挙に当てたくもないのだ」と、ゼレンスキーは言った。

「しかし、もしあなたが財政を援助してくれれば、もし議員たちがその必要があると理解してくれれば、そのときには即刻、法律を変えて、これは最も重要なことだ——リスクを共にしようではないか。」

「オブザーバーが塹壕に入ってみるとよい、と私は彼に言った。オブザーバーを戦線に送られてみれば、選挙が我々にとっても、世界にとっても合法的だとわかるだろう。そしてこれは絶対的に公平なのだ」と彼は加えた。

ゼレンスキーは、選挙がどれくらい高くつくかについて論じ、それは通常、少なくとも 1 億 3,500 万ドルかかり、今ヨーロッパにいる数百万の、在外ウクライナ人が投票しなければならず、それには投票インフラストラクチャを必要とする、と言った。

「我々はここで、ヨーロッパからの援助を必要とする。なぜならウクライナ人は今日、ほとんどが EU（ヨーロッパ連合）の中にいるからだ。人々が来られるように、投票所がそこに開設されねばならない。700 万の人々が投票しなければならないのだ。我々はそんなインフラストラクチャの収容能力をもっていない。我々はそのために適切な機会を設けなければならない」と彼は言った。

「軍隊はどうやって投票すればいいのだ？ そのインフラストラクチャを見せてくれ。それを示した者はまだ一人もいない。外国の人々はどのようにして投票するのだ？ 誰もこれを教えてくれない。その解決法はあるのだ。私はそれを準備している。私は今、それを公然と話している、私は秘密を持たない、そう私は（グレアムに）言った。」

「我々は来年、ウクライナで選挙が必要になる。私はこの国が、自由と公平な選挙ができることを、それが攻撃されている間にも、見せたいと思っているのだ」と大統領は言った。

元コメディアン^①のゼレンスキーは、2019年、73%の投票を得て当選したが、それは腐敗を撲滅し、ロシアとの関係を正常化するという公約を宣言した後のことだった。

それがどういう結果になったかを見るがよい。

選挙は、ゼレンスキーが昨年、戒厳令を強行した後で、ずっと行われ^②ないままになっている。彼はこれを11月15日まで延長したが、通常10月に行われる議会選挙が、果たして行われるかどうか疑問となっている。大統領選挙は通常、3月に行われる。

https://news.yahoo.com/zelensky-declares-martial-law-ukraine-055254068.html?guccounter=1&guce_referrer=aHR0cHM6Ly93d3cuYmluZy5jb20v&guc_e_referrer_sig=AQAAAGhuSrWssAf3WzFLJCQrQWYjrmRWxubPGqXvTMmwW--yaWXQcgbnYHXdy6frDHbv73HbBwK-Z6hYzqRI-FtNZsgo-TVRCn745GKphf0gYXKycM--uwjAMbWEWkaEakvjiTJ9c-zMIHijSNrayIAkZkrHhQ7TRg2qKdnXRbkxV36

ゼレンスキーはまた、昨年、いくつもの野党を禁止したが、それは彼らがロシア最良だという理由による。だから彼が、こうしたアメリカの資金による選挙に、彼らの参加を許すかどうかは大いに疑問である。<https://www.businessinsider.com/zelenskyy-suspends-ukrainian-opposition-parties-with-ties-to-russia-2022-3>

一方において、バイデン政権とEUは、すでに総1,500億ドルをウクライナに送っている。しかしどうい^③うわけか、この国はその選挙費用の、1億3,500万ドルを取り分けておくことができなかった。

銘記すべし、これこそウクライナが、地上で最も墮落した国家と考えられる理由である。<https://nationalinterest.org/blog/buzz/ukraine-one-world%E2%80%99s-most-corrupt-countries-49712>

[訳者 Greatchain 注]

ゼレンスキーは昨日(4日)ウクライナ国防長官の首をすげ替えた。彼は狂人ではないにしても、ある狂気の幻想に取り憑かれた男であることが、ここからわかる。自国の選挙費用をEUとアメリカに出せと、当然のように強要するのは、ある彼なりの理屈によると思われる：——「この戦争はお前たちのためにやっているのだぞ。つまりお前たちの計画通り、ロシアを滅ぼしたあとは、(バイデン親子のように)EUとアメリカが、その利権争いに乗り出すことはわかっている。その便宜を図ってやっているのだ。我々は

その犠牲になって戦っているのだ。お前たちも、自分の息子や娘をこの戦争に出してみるのがよい。」

このように考えたとき、はじめてゼレンスキーの謎が解けるのではなからうか？ ゼレンスキーは愛国者であるはずだという前提で、この戦争の成り行きを論じていた人々は、考え直さなければならない。

それに気づいたEUが、ゼレンスキーを笑い者にして楽しんでいる——のRT記事が、ここに出ている：

「驚異の兵器という幻想：ウクライナの西側協力者が、なぜアメリカの F-16 についてのゼレンスキーの幻想を、笑いものにして喜ぶのか？」

<https://www.rt.com/news/581828-ukraine-zelensky-f16-west/>

50年もの昔のジェット機が、戦況をキエフに有利な方向へ変えはしない。しかしその振りをし続けるなら、そのパートナーを利するだろう。

西側の体制メディアが、多くのアナリストが長く予言してきたこと——キエフの反攻勢は破局的な失敗だったということ——を渋々、認めているにもかかわらず、どうやらゼレンスキー大統領はメモを取っていないらしい。彼は、科学の神である F-16 戦闘機は、彼の劣った軍隊の、ロシアに対する勝利にとって必要な、ミッシング・リンクだという、梃子でも動かぬ信念を持っているらしい。・・・

——以上

九十爺 くそじじい あな憎さげの鷹の舞